



主要な農作物の生育情報

平成25年度 第2号

(平成25年5月17日)

福島県農林水産部農業振興課



【水 稲】

育苗の播種盛期は、県全体で平年より1日遅れましたが、4月末日までにほぼ終了しました。

直播栽培では5月に入り播種盛期を迎え、5月15日現在9割ほどが終了しています。

移植栽培では、5月15日現在4割ほどが終了しておりますが、低温の影響で作業を見合わせるなど、遅いところでは5日程度の遅れとなっています。

なお、育苗中に苗立枯病等の病害の発生が散見されましたが、移植栽培への影響は殆どない見込みです。

【麦 類】（農業総合センターにおける生育状況より）

1 大麦（シュンライ）

出穂期は、平年より農業総合センター本部、浜地域研究所とも2日早くなりました。生育量は平年と比較し、農業総合センター本部は草丈がやや短め、茎数は多め、浜地域研究所は草丈は長め、茎数も多めとなっています。

2 小麦（きぬあずま、ゆきちから、ふくあかり）

出穂期は、平年と比較し「きぬあずま」で平年並みないし1日遅れ、「ゆきちから」では1日ないし5日以上遅れとなりました。また「ふくあかり」では4月27日ないし29日の出穂期となりました。生育量は、草丈が農業総合センター本部は平年並み、浜地域研究所、会津地域研究所では短め、茎数はいずれの地域も平年並みからのやや多めとなっています。

表1 麦類の生育状況*

種別	調査場所	品 種	は種期 (月.日)	出穂期 (月.日)	5月1日現在		
					草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢
大 麦	本 部	シュンライ	10.18(-2)	4.24(-2)	80.0(96%)	763(127%)	11.8(0.0)
	浜 地 域	シュンライ	10.22(-4)	4.26(-2)	85.5(111%)	699(110%)	12.6(0.6)
小 麦	本 部	きぬあずま	10.18(-2)	5.3(0)	68.7(101%)	738(111%)	10.5(+0.3)
	浜 地 域	きぬあずま	10.22(-4)	5.4(+1)	54.8(81%)	682(100%)	11.1(+0.5)
麦	本 部	ゆきちから	10.18(-2)	5.7(+1)	68.0(117%)	819(108%)	12.4(-0.5)
	会津地域	ゆきちから	10.5(+1)	5.18(+5)	37.7(83%)	774(106%)	11.9(データ無)
	本 部	ふくあかり	10.18	4.27	72.5	758	10.7
	浜 地 域	ふくあかり	10.22	4.29	58.9	597	10.9

※農業総合センター本部(郡山)・会津地域研究所(会津坂下)・浜地域研究所(相馬)の調査による。

()内の数字は平年比較。ふくあかりは2年目。

【野 菜】

1 アスパラガス

県北地方の半促成栽培は、春取りが終了し立茎作業が行われています。成園化が進んでいることもあり、年々収量が増加しています。会津地方では、露地栽培が順調に生育しており、本格的な出荷が行われています。

2 きゅうり

県中地方の半促成（加温）栽培は、平年並みの3月下旬から出荷が始まりました。半促成（無加温）栽培は、平年より5日程度遅れの5月上旬から収穫されています。露地栽培の播種は、平年並みの4月20日頃から行われており、定植は5月25日を中心に行われる見込みです。

3 トマト

県南地方では、2月下旬から3月上旬にかけてのは種の作型で、4月20日頃から定植作業が行われました。低温の影響で下葉に低温障害が若干発生したものの、平年並みに生育しています。

南会津地方では、昨年より3日遅い4月10日から共同は種が行われました。各農家への仮植苗配布は、5月1日～5月8日にかけて行われ、定植はほぼ平年並みの5月下旬から随時行われる見込みです。

4 春ブロッコリー

県南地方では、資材のべたがけ栽培の体系で、平年並みに3月下旬から4月上旬にかけて定植が行われました。4月中旬からの降霜や低温により生育が平年より10日程度遅れましたが、現在出荷が行われています。

【果 樹】

1 も も

農業総合センター果樹研究所（以下、果樹研究所という。）における「あかつき」の開花始めは、平年より2日早く、満開は3日早い状況でした。

本年の「あかつき」の硬核期開始は、6月12日頃で平年より1日遅いと予測されます。また、収穫開始は平年より2日遅いと予測されます（5月15日現在）。

2 な し

果樹研究所における「幸水」の開花始めは、平年より4日早く、満開は平年並みの状況でした。

3 りんご

果樹研究所における「ふじ」の開花始めは、平年より1日早く、満開は2日遅い状況でした。

4 おうとう

果樹研究所における「佐藤錦」の開花始めは、平年より3日早く、満開は1日早い状況でした。

5 ぶどう

果樹研究所におけるぶどう「巨峰」の発芽は、平年より1日早く、展葉は1日遅い状況でした。

また、「巨峰」の開花始めは、今後の気温が平年並に推移した場合は6月10日、平年より2℃高い場合は6月7日、平年より2℃低い場合は6月15日と予測されます。また、満開は、今後の気温が平年並に推移した場合は6月12日と予測されます（5月15日現在）。

表1 発芽・展葉状況

樹 種	品 種	発 芽			展 葉		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
ぶどう	巨 峰	4月18日	4月19日	4月28日	4月26日	4月25日	5月2日

注) 平年は1981～2010年の平均値。

表2 開花状況

樹種	品種	開花始め			満開		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
もも	あかつき	4月13日	4月15日	4月24日	4月18日	4月21日	4月29日
	ゆうぞら	4月14日	4月16日	4月24日	4月19日	4月21日	4月28日
なし	幸水	4月19日	4月23日	4月28日	4月27日	4月27日	5月1日
	豊水	4月15日	4月19日	4月25日	4月22日	4月24日	4月29日
りんご	つがる	4月25日	4月26日	5月1日	5月2日	5月1日	5月4日
	ふじ	4月26日	4月27日	5月1日	5月3日	5月1日	5月4日
おうとう	佐藤錦	4月16日	4月19日	4月25日	4月24日	4月25日	4月29日

注) 平年は1981～2010年（オウトウは1994～2010年）の平均値。

【花き】

1 キク類

県北地方のコギクは、少雨の影響等から生育の停滞がみられますが、今後は天候の回復に伴い、平年並みに生育する見込みです。

また、9月咲き品種の定植作業は、平年並みの5月14日頃から始まりました。

いわき地方のコギクは、平坦部で低温の影響で8月咲き、9月咲きの品種ともにやや遅れ気味です。山間部では9月咲きの品種はほぼ順調に生育しています。

2 リンドウ

安達地方の生育は、4月の低温の影響を受け節数は平年並みでしたが、草丈が平年より若干低く生育しています。

喜多方地方の生育は、5月上旬まで低温が続いたことから草丈、節数とも平年より抑えられました。雪解け遅い地区では、草丈は20cm程度伸長しています。

南会津地方では、前年よりも12日早い雪解けを迎え、萌芽も前年より早かったですが、4月下旬からの低温により、全体的に生育が抑えられています。

3 トルコギキョウ

会津地方の促成栽培は、低温の影響で開花の進みが遅く、14日程遅い4月25日が初出荷でした。今後は出荷が本格的になる見込みです。

【飼料作物】

牧草（昨年秋に除染（草地更新）を行った牧草地）は、4月中旬以降が比較的低温で推移したこともあり、生育はやや遅れていますが、順調に生育しています。

飼料用とうもろこしは、現在播種適期を迎えていますが、4月下旬の低温の影響により作業が遅れています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11224